

平成29年度決算がまとまりました

納付金によってますます厳しくなる財政状況
医療費節減にご協力をお願いします

7月18日に開催された第114回組合会において、当健保組合の平成29年度決算が可決・承認されましたので、お知らせします。

約1億3千万円の繰り入れ等で
収入不足分に対応

当健保組合の平成29年度決算は、収入総額27億8037万円、支出総額25億9707万円、収支差引額1億8330万円となりましたが、単年度の実質的収支である経常収支においては133万円の赤字で終了しました。10年連続の赤字決算です。

収入では、みなさんと事業主から納めていただいた保険料収入が、健康保険料率を引き上げさせていただいたことを反映して、前年度比1億1655万円増加の25億5814万円となりました。

○ 平成29年度収支決算概要 ○

《健康保険》

■収入

科 目	決算額 (千円)
みなさんと事業主から納められた保険料	2,558,135
健保組合が互いに出し合って助け合うお金 (調整保険料)	32,545
繰 越 金	12,000
繰 入 金	131,590
そ の 他	46,100
合 計	2,780,370

■支出

科 目	決算額 (千円)
病気やけがやお産をしたときに 健保組合が負担した保険給付費	1,247,958
高齢者の医療に使われた納付金	1,146,178
健康づくりに使われたお金 (保健事業費)	118,690
健保組合が互いに助け合うための拠出金	32,391
そ の 他	51,849
合 計	2,597,066

《介護保険》

■収入

科 目	決算額 (千円)
みなさん※と事業主から納められた 介護保険料	282,928
繰 越 金 等	4,473
合 計	287,401

■支出

科 目	決算額 (千円)
国に納める介護納付金	284,915
介護保険料還付金	15
合 計	284,930

※介護保険第2号被保険者たる被保険者(40～64歳)

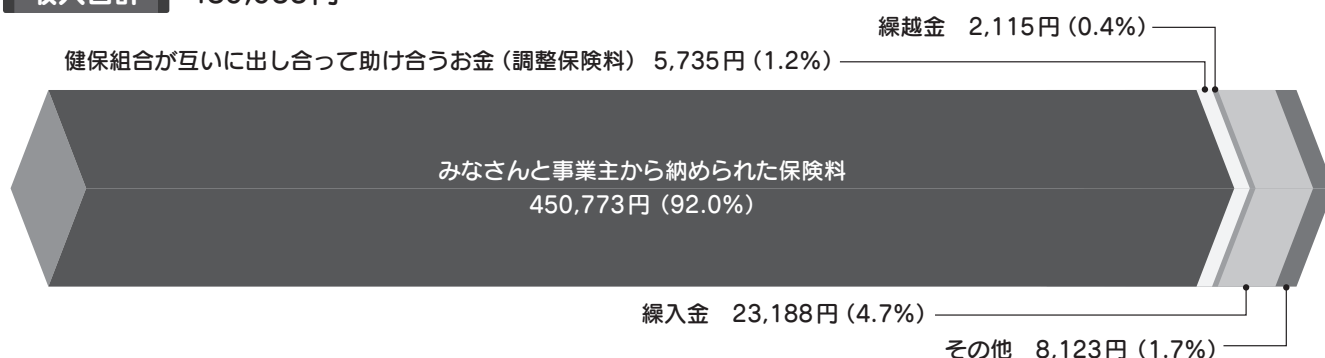
支出では、みなさんが病気やけがをしたときの医療費や出産などの各種給付金に使われた保険給付費が同比7149万円減少の12億4796万円となりました。高

齢者医療制度への納付金は、同比8606万円増加の11億4618万円となり、保険料収入の4割以上を占めました。各種健診や保養所の利用補助な

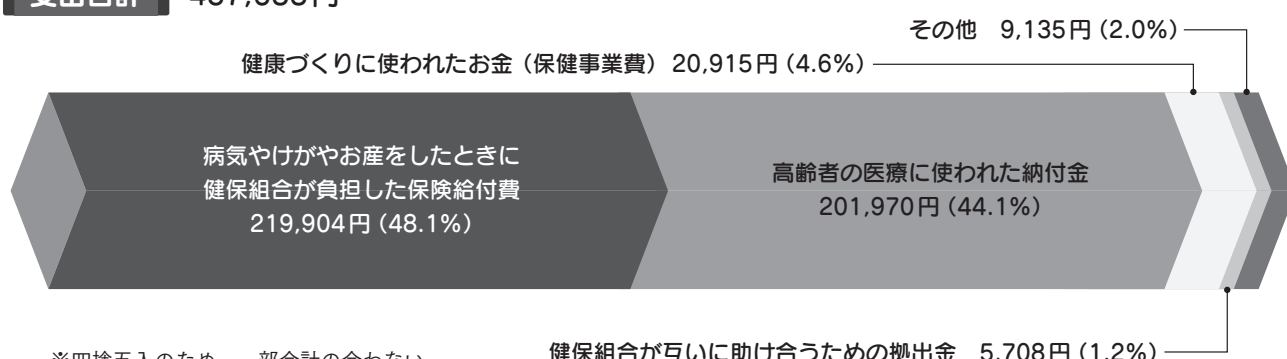
どに使われた保健事業費は、同比317万円減少の1億1869万円となりました。以上の結果、保険料収入は大幅に増加したものの、保険給付費と納付

◆ 被保険者 1 人当たりでみた収支決算（健康保険）◆

収入合計 489,933 円



支出合計 457,633 円



※四捨五入のため、一部合計の合わない箇所があります

健康組合が互いに助け合うための拠出金 5,708 円 (1.2%)

納付金の過重な負担が 厳しい財政運営の要因に

金への支出だけで保険料収入をほぼ使い切ってしまったため、繰越金 1200 万円、別途積立金からの繰り入れ 1 億 3159 万円などで収入不足を補わなければなりませんでした。

平成 29 年度の決算が赤字となった最大の理由は、高齢者医療制度のしくみが現役世代に重すぎる納付金負担を強いていることにあります。これまで当健康組合は、みなさんと事業主から納めていただいた保険料を運営の財源とし、保険料でまかない

きれない支出に対しては、繰越金や積立金からの繰り入れなどで対応してまいりました。しかし、納付金は年々増加傾向にあること、また、積立金は無尽蔵にあるわけではないため、こうした対応にも限界があります。

みなさんには、健康組合をめぐる情勢をご理解いただき、「日ごろから運動習慣を身につける」「栄養バランスのとれた食事」「しっかりと休養をとる」などで、医療費節減に取り組んでいただけましたら幸いです。みなさんのご協力をよろしくお願いします。

